

中央教育審議会
第3回 学校安全部会資料
令和8年10月19日

学校現場における学校安全の現状と課題

～国分寺市立第十小学校の取組を通して～



国分寺市立第十小学校
校長 坂井由利子

学校安全を柱にした学校経営

「命と笑顔」

「想像する・行動する」

子供が考え、判断し、
行動する力を育む安全教育



安全管理

安全を教職員・児童・保護者「みんなの力」で支える

実効性・実践性

避難訓練

「実動避難訓練」・「封筒避難訓練」
多様な被害想定／児童参加型
非常勤講師・事務職員を含む全教職員が参加
保護者との避難訓練



不審者対応訓練

教職員対象・全校対象の2回実施
警察・地域と連携



アレルギー対応訓練

アドレナリン自己注射薬
（「エピペン®」）の使い方
だけでなく児童役、観察役
など本番に沿った想定訓練

その日のうちに
振り返りを共有



次の避難訓練に生かす

学校に関わる人が、それぞれの立場で安全を点検

教職員
ローテーション

児童

保護者



※1

「生活指導夕会」での情報共有

ヒヤリハットなどを
すぐに「改善」につなげる

※1 生活指導に関することに特化して毎週1回
報告・連絡・相談、打ち合わせる会議のこと

組織活動

学校内・地域・関係諸機関の連携を深める

円滑に・効果的に

学校安全担当者の配置

学校安全に関わることを担い、校務のスリム化・明確化を推進。関係諸機関との渉外を一本化。

教職員研修の充実

一人一人の個人研修を、全体で共有・協議する研修へ。実行できる力を高める。

学校安全を進める担当者を決め、
責任をもたせて研修や訓練を実施する



安全教育

安全教育を「日常の学び」にする

各教科等・教育活動と関連付けて日常的に

児童・教員の資質・能力の向上

児童

危険を予測し回避する力

知識・技能の習得

様々な時間を工夫して、
年間指導計画を組む

安全指導日

全校朝会

朝の会・帰りの会

各教科・特別活動・行事

安全教育を推進する力へ

教員

授業力の向上

安全教育を推進する力



生活安全

日常の場面で、自分を守る力を育てる

登下校・通学路の安全

地域・保護者・警察の見守り



校外の安全

安全マップづくり

地域・保護者と一緒に回る



校内の安全

校内安全委員会の設置

児童による発表や掲示物の作成



不審者対応訓練

不審者役を警察・地域の人に依頼

交通安全 体験を通して、危険から身を守る

学年の生活圏の広がりに合わせて、指導内容を検討

1・2年生 歩行訓練



1年生 入学当初の歩行訓練



1年生 2年生
歩行者シミュレータ

交通安全 自転車の安全な乗り方を、体験で学ぶ

3・5・6年生 自転車の安全な乗り方



3年生 警察と連携した開催
警察官講師

5年生 東京都の支援による
自転車シミュレータ
外部講師 3年生



3年生 総合的な学習の時間に組み込む
自分たちの生活圏での危険を考える 知らせる
担任指導



一斉指導から、体験型 探究型へ
一般論から具体性へ

学んだことを、下級生へ「伝える」

警察庁「自転車の交通安全教育ガイドライン」による自転車教室



下級生に何を、どのように
伝え、教えるかを自己決定する

危険予測・危険回避を
自ら考える

3年生・6年生／担任指導 各1時間
担任指導 **企業の支援**



学年に応じて「知る」→「考える」→「行動する」へ

災害安全 実践的・実効的な学習へ

総合的な学習の時間・社会科

4・5年生「防災プロジェクト」

地域に親しみ、地域に学び、地域を考え、地域とともに行動する

国分寺学



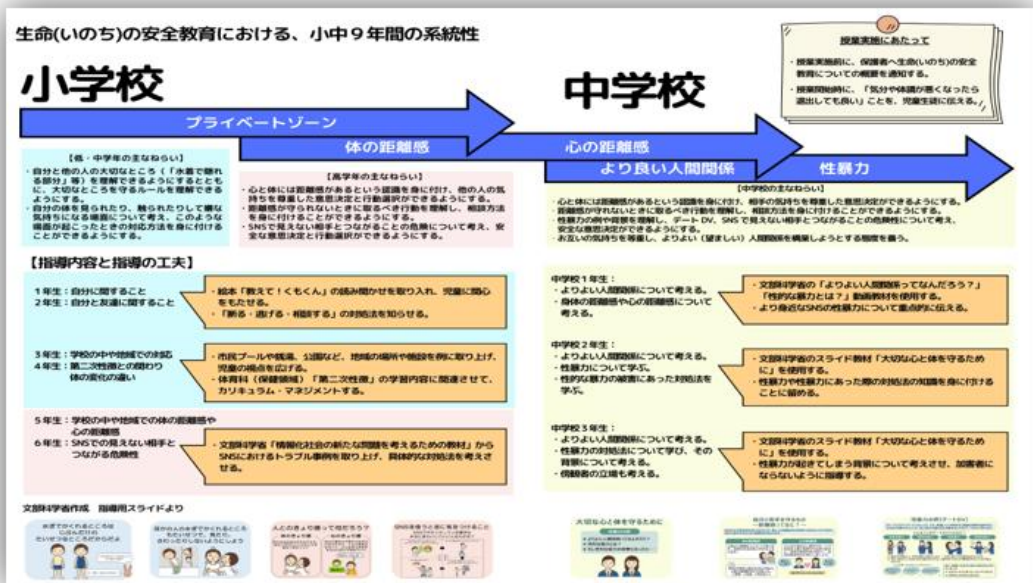
学んだ防災の知識・技能・行動を、地域の中で生かす

生命（いのち）の安全教育

性暴力の被害者・加害者 ・傍観者にならない

毎年、発達段階に合わせて授業を実施

- ★ R8年3月に拡充・改訂された内容を指導
- ★ 文部科学省作成のスライドや動画を活用



【低学年】
プライベートゾーン
自分も相手も大切にする



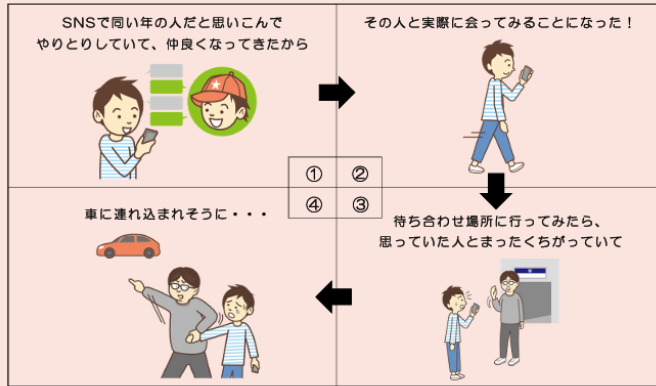
【中学年】
心と体の距離感(境界線)
同意

中学校と連携し、9年間を通した指導計画を作成



SNSを使うときに気をつけること

SNSでやりとりしている相手は
本当に信らいしい人なのかな？



【高学年】
インターネットの利用
SNSの利用



【中学校】
性的な暴力・対応
関連する法律の理解

様々機会を利用した指導



全校朝会での一斉指導



東京都教育委員会の資料 服務防止研修の活用

地域連携

地域でつくる安全教育 — 受動から発信者へ



「学ぶ」だけでなく、「地域に返す」安全教育
「守ってもらう」から「守る」存在へ

学校安全を充実させるために

01

教員養成段階や職層に応じた研修の設定

教員免許状取得段階や管理職・主任教諭・初任者など、キャリアアップごとに学校安全の研修を実施し、育成する。

02

学校運営上の位置づけ

安全の取組を経営計画に示す。
学校安全主任を生徒指導主事とは別に必置主任とする。

03

質を高めるための伴走支援の拡充

指導資料の提供、協力者（アドバイザーや支援事業）の充実



東京都の指導資料・支援の例